

「狩猟免許試験、受けてみた」(馬田)

職員馬田のやってみたシリーズ、今回のチャレンジ企画のテーマは『狩猟』です。

先日、京都府庁で実施されました狩猟免許試験に合格しました。種目は第一種銃猟（散弾銃、ライフル銃、空気銃）とわな猟です。鳥類捕獲の為の網猟は来年受験予定です。猟銃に関しては、警察からの使用・所持許可を取得するのに半年以上掛かるとのことで、今シーズンの活動は断念。とりあえず、年明けくらいにわな猟だけでも猟師登録しようかと考えております。



人々、「何か自然や地域に貢献したい」という思いから受験したのですが、最終目標は「自分で狩った動物をさばいて食すこと」。最近、熊による被害がニュースでよく取り上げられていますが、私は自分が住んでおります古民家の屋根裏でドタバタと大運動会しておりますハクビシンやイタチ（オス）を捕獲する所から始めてみたいと思います。もちろん法令遵守は徹底、です。

知っとこ! 「税」のマメ知識

今月のマメ知識：【一獲千金の税務処理はお忘れなく】

一獲千金には夢がありますが、その後の税務処理を怠ると大きなリスクとなります。競馬や競輪などの公営競技の払戻金は、原則として一時所得に分類されます。例えば趣味で馬券を購入する一般の愛好家の場合、外れ



馬券代は必要経費としては認められず、当たり馬券代だけが控除の対象となります。年間50万円までの払戻金は申告する必要はありませんが、払戻金から当たり馬券代を差し引いた残額が50万円を超えると、その超過分の半額が課税対象となります。

一方、自動購入ソフトなどを用いて網羅的に購入し、継続的かつ営利目的で取り引きしていた場合は雑所得に該当します。このような場合には、外れ馬券代も経費算入が認められると裁判所が判断しました。また国税庁は、ネット購入履歴の蓄積データを通じて課税の適正化を進めており、国の行政機関である会計検査院も高額払戻しの未申告を課題と指摘しています。宝くじが非課税であるのと対照的に、公営ギャンブルでは夢と税負担が表裏一体にありますね。

世界の偉人伝

今月の偉人：【ミヒヤエル・エンデ】

ミヒヤエル・エンデは20世紀のドイツの児童文学作家です。ドイツ南部の町ガルミッシュで画家の父のもとに生まれました。シュタイナー教育を受けた後に演劇学校に入学、卒業後は俳優業のかたわら詩や戯曲、小説を執筆しました。代表作の『モモ』や『はてしない物語』はファンタジーながら世代や国境を越えて世界中で愛読され、映画や舞台で上演されています。「未来の世界はファンタジーからしか生まれ育たない」の言葉通り、作品からは、文明社会の真理が浮き彫りに見えてきます。

気軽に Let's 英会話

今月のキーワード：【寒い】

“cold”は「寒い」という意味ですが、名詞だと「風邪」の意味もあり“I have a cold.”は「私は風邪をひいています」です。「寒い」は他に“cool”“chilly”“freezing”などがあります。“cool”は「涼しい」の他に「カッコいい」、“chilly”は「肌寒い」で、動詞の“chill”は「冷える・落ち着く（2021年の新語大賞「チルい」は「気持ちがゆったりする」）」、“freezing”は「凍えるほど寒い」で、名詞の“freezer”は「冷凍庫」です。cool→chilly→cold→freezingの順に寒さが増します。



今月のトピック :【スパットシューズ】

靴の専門店チヨダの「スパットシューズ」がブームです。手を使わず、屈むことなくスパッと履ける。その秘密は靴べら状のかかとだとか。ビジネスからレディース、ジュニアにも展開し、お年寄りや妊婦にも喜ばれています。現場のニーズを捉え「脱げにくくて、脱ぎやすい」靴を実現。専門店ならではのプライベートブランドの面目躍如です。



オ人の言葉

自分で自分をどうもくはせん

古代ギリシアのストア派の哲学者であるエピクテトスの言葉。自分がコントロールできるものだけを欲望の対象に限定し、そうでないものなど放っておけばいい。

スチームアイロンを使わずにTシャツのシワを素早く伸ばす方法です。Tシャツをハンガーに吊るしてシワの部分に軽く霧吹きして、そこにドライヤーの高温の風を当てます。繊維が柔らかくなつてシワが伸びるので、最後に全体を軽く引っ張って形を整えましょう。

知つて得する知識代表

振り向けば あそこにもここにも「商売のヒント」

今月の商売のヒント :【健康を守る経営】

2025年は気候のリズムが例年以上に乱れ、春の桜は早く咲き、夏は記録的な猛暑、秋はあっという間に駆け抜けました。当然のことながら自然の変化は暮らしだけでなく、少なからずビジネスにも影響しました。業務やスケジュールが左右され、エアコンの電気代や物流のコストなどが重くのしかかり、変化に合わせた選択や行動が経営の安定に不可欠でした。小さな判断や工夫の積み重ねが結果として会社を支えることを実感し、経営者として重要な学びにもなったのではと思います。大変な年ではありましたが、変動の多い1年を通じて「社員も経営者も対応力を磨くチャンスに恵まれた」と前向きに捉えたいところです。さて、年の瀬の今こそ振り返りたいのは「今年うまく機能した柔軟さ」と「来年に持ち越す課題」です。特にこれから時代、従業員の働きやすさや健康をどう支えるかは、会社の規模や業種を問わず考えておきたいテーマです。フレックスタイム制など勤務時間の調整や休憩の取り方、オンライン会議の導入、オフィス環境の快適さなど、日常のちょっとした工夫が集中力や体調の維持に役立つでしょう。こうした配慮は単なる福利厚生にとどまらず、社員の安心感や定着率、取引先からの信頼にもつながります。人材確保が難しい時代だからこそ「健康を守る経営」は企業の信用力を支える重要な要素になると思います。時代の変化は避けられません。気候や社会の揺らぎを「リスク」と捉えるだけでなく、挑戦や改善の「機会」として受け止め、自分たちのリズムに変えていくためにはどうしたら良いか?そんなことを自問自答しながら迎える年の瀬です。



トナリの木相

【国宝】

朝日新聞の連載時から反響を呼び、映画化されると海外から高評価を得た吉田修一の小説。歌舞伎の世界の華やかさと裏側に触れた余韻を味わえる一冊です。



船越税理士法人

〒620-0054

京都府福知山市末広町 1-1-1 中川ビル 3 階

TEL:0773-22-3708 FAX:0773-22-7343

<http://www.f-office301.com>

E-mail : info@f-office301.com

皆様のご感想をお待ちしております。お問い合わせ